

公益財団法人浜松市医療公社第4期（平成28年度）事業報告

1 事業概要

第4期（平成28年度）は、公益財団法人移行の4年目として地域医療連携の強化と救急患者等の積極的な受入れや「中耳手術センター」「下肢関節再建・人工関節センター」「口腔顎顔面センター」を開設し、その専門分野での若手医師の育成や専門外来の充実による患者数の増加を図るとともに、施設基準の上位基準の取得やあゆみ保育園の運営形態の見直しなど、経営改善に取り組みました。

また、認知症のある患者が最善の医療を受けられ、安心して穏やかな療養生活を送れるように認知症ケアチームを新たに発足しました。

2 主な事業内容

（1）入院に関する業務

平成28年は、救急患者や紹介患者を断らない受け入れ態勢の強化により、入院患者延べ数は187,206人（前年度比2,659人増）と計画値を1,713人上回った。

また、7対1入院基本料を維持するため、「重症度、医療・看護必要度」の基準（25%以上）を満たすよう退院支援に向けた取り組みを行い、年間平均28.3%を達成することができた。

項目	平成28年度実績		平成28年度 計 画
	人数等	達成率	
入院患者延べ数	187,206人	100.9%	185,493人
1日平均入院患者数	512人	101.0%	508人
病床利用率	85.5%	100.9%	84.7%
平均在院日数	13.8日	—	13.7日

〈前年と比較して増減のあった主な診療科〉

診療科	平成28年度	平成27年度	増減
循環器内科	11,993人	9,054人	2,939人
泌尿器科	5,584人	4,041人	1,543人
整形外科	23,112人	21,668人	1,444人
リウマチ科	2,454人	1,394人	1,060人
血液内科	14,139人	17,075人	△2,936人
産婦人科	12,580人	13,452人	△872人
形成外科	2,047人	2,806人	△759人
新生児科	4,252人	4,846人	△594人
眼科	1,679人	2,216人	△537人

(2) 外来に関する業務

平成 28 年 4 月より、「中耳手術センター」「下肢関節再建・人工関節センター」「口腔顎顔面センター」を開設し、その専門分野での若手医師の育成や専門医の確保に向けた取り組みを行うとともに、医師会の先生方に当院の特色をアピールし、市内だけでなく市外の患者にも幅広く専門的な医療を提供した。その結果、外来患者延べ数は 231,775 人（前年度比 389 人増）と計画値を 925 人上回った。

項目	平成 28 年度実績		平成 28 年度 計 画
	人数	達成率	
外来患者延べ数	231,775 人	100.4%	230,850 人
1 日平均外来患者数	954 人	100.4%	950 人

〈前年と比較して増減のあった主な診療科〉

診療科	平成 28 年度	平成 27 年度	増減
循環器内科	15,156 人	14,019 人	1,137 人
耳鼻いんこう科	8,941 人	7,407 人	1,534 人
皮膚科	3,794 人	2,774 人	1,020 人
歯科口腔外科	11,229 人	10,347 人	882 人
小児科	16,074 人	15,222 人	852 人
泌尿器科	7,395 人	6,841 人	554 人
消化器内科	20,080 人	21,839 人	△1,759 人
眼科	6,159 人	7,374 人	△1,215 人
放射線治療科	5,233 人	6,151 人	△918 人
乳腺外科	5,886 人	6,442 人	△556 人

(3) 救急医療に関する業務

夜間救急など一次救急医療を担当する関係医療機関との連携を図り、二次救急医療及び三次救急医療の提供体制を維持するとともに、24 時間 365 日断らない救急医療を目指し着実に提供した結果、救急搬送受入患者数は 6,281 人（前年度比 225 人増）と計画値を 281 人上回った。

また、救命救急センターの効率的な病床管理により、救命救急センターの延べ入院患者数は 7,838 人（前年度比 389 人増）となった。

項目	平成 28 年度実績		平成 28 年度 計 画
	人数	達成率	
救急搬送受入患者数	6,281 人	104.7%	6,000 人

(4) 周産期医療に関する業務

地域の周産期医療を担う拠点病院として、メディカルバースセンター（めばえ）をはじめ周産期センターへの分娩を積極的に受け入れた。

項目	平成 28 年度実績		平成 28 年度 計 画
	件数	達成率	
分娩件数	1,189 件	99.1%	1,200 件

(5) がん診療に関する業務

地域がん診療連携拠点病院として、手術・リニアック（放射線治療）などによる質の高い診断・治療の提供、外来化学療法室を活用したがん診療を実施するとともに、乳がんの乳房全摘手術後のインプラントによる乳房再建術を積極的に行った。また、放射線治療において、体表面形状計測装置の導入及び放射線治療用CTの更新により、患者負担を軽減し、位置決め精度の向上を図った。

項目	平成 28 年度月実績		平成 28 年度 計 画	
	件数・回数	達成率		
外来化学療法実施件数	5,196 件	94.5%	5,500 件	
がんサロン開催数	12 回	100.0%	12 回	
がん患者就労相談	4 回	100.0%	4 回	
地域連携 パス数	胃がん	7 件	70.0%	10 件
	乳がん	39 件	65.0%	60 件
	肝がん	0 件	0%	3 件
	大腸がん	14 件	70.0%	20 件
	肺がん	0 件	0%	2 件
消化管ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）件数	39 件	78.0%	50 件	
乳房全摘手術後のインプラント乳房再建術	21 件	350.0%	6 件	
IMRT（強度変調放射線治療）件数	前立腺がん	9 件	36.0%	25 件
	前立腺がん以外	1 件	20.0%	5 件

(6) 脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病診療等の専門医療に関する業務

手術件数は5,865件（前年度比37人増）と計画値を165人上回った。

また、腹部大動脈瘤に対するステントグラフト手術をはじめ下表に掲げる手術及び治療等を行うとともに、最新鋭の全身用X線CTスキャナー装置及び頭部用血管造影装置による精度の高い医療の提供や関節エコーの導入により、迅速な滑膜炎の診断や治療効果の判定を実施するなど、医療技術の向上に努めた。

項目	平成 28 年度実績		平成 28 年度 計 画
	件数	達成率	
手術件数（手術室）	5,865 件	102.9%	5,700 件
腹部大動脈瘤に対するステントグラフト手術	21 件	105.0%	20 件
下肢静脈瘤の日帰り手術	0 件	0%	3 件
経尿道的尿路結石除去術	12 件	50.0%	24 件
大腸カプセル内視鏡	1 件	10.0%	10 件

(7) 臓器・骨髄移植に関する医療

新基準による骨髄認定移植施設の取得を目指し、骨髄移植施設日本造血細胞移植学会認定造血細胞移植コーディネーターの育成を行うため、資格支援を図った。

(8) 健診に関する業務

メタボリックシンドロームの予防に重点をおいた生活習慣病の予防のため、特定健康診査（特定健診）・特定保健指導を実施するとともに、高齢化・生活習慣病の増加を踏まえ一般健診、がん検診及び人間ドックの受け入れを実施し、疾患の予防、早期発見を推進した。また、子育て、介護、仕事、家事などで多忙な女性が、休日の日曜日に乳がん検診を受けられるジャパン・マンモグラフィーサンデー（10月第3日曜日）への参加や土曜日の乳がん検診を実施した。

項目	平成 28 年度実績		平成 28 年度 計 画
	人数	達成率	
特定健診	15,969 人	101.0%	15,809 人
胃がん検診	8,082 人	95.3%	8,480 人
大腸がん検診	11,086 人	98.0%	11,308 人
結核肺がん検診	15,693 人	101.0%	15,532 人
子宮がん検診	3,554 人	99.2%	3,582 人
乳がん検診	2,447 人	98.0%	2,498 人

(9) 地域連携に関する業務

定期的に関業医・診療所を訪問し、当院の特徴、新規治療の紹介、新規医師の着任紹介などを行い、当院の診療機能の広報を図り、医療連携体制の強化並びに患者の確保に努めた。また、リンクナースと退院支援看護師が連携し、地域の医療機関などと調整を図り、「医療・介護・福祉」の総合的な視点から退院支援の充実を図った。

項目	平成 28 年度実績		平成 28 年度 計 画
	件数・率	達成率	
紹介率	78.6%	104.1%	75.5%
逆紹介率	70.3%	104.1%	67.5%
退院支援加算算定数	905 件	431.0%	210 件

(10) 臨床研究に関する業務

JALSG(造血管研究グループ)など臨床研究事業への参加・症例登録などの推進を図り、「とおとうみ臨床試験ネットワーク」への継続的な参加など治験実施件数の増加や臨床研究の促進のため、治験・臨床試験に係る医師の負担軽減を図り、治験を受託しやすい環境を整え、新規治験受託件数の増加に努めた。

(11) 医療安全に関する業務

医療安全推進委員会を定期的で開催し、発生したアクシデントや警鐘的事例の改善策を検証し、患者が安心して医療を受けることのできる環境を整備するとともに、安全管理の手順や再発防止策の実施状況の評価のための医療安全ラウンドや調査、またラウンドや調査結果を職員にフィードバックし、継続的な医療安全活動を実施した。

また、院内で発生した有害事例に対し、医療事故調査制度に基づいた院内医療事故調査または、院内有害事例調査を行い、再発防止に努めるとともに、医療事故調査制度に関する院内の組織体制を構築し、報告の徹底を図った。

(12) 医療スタッフの確保・育成に関する業務

「救急医療」「がん医療」「高度専門医療」等の水準を維持・向上させるため、大学等関係機関との連携の強化や教育研修の充実により、医師の育成、確保に努めるとともに、必要な看護師の確保のため、看護師等修学交付金制度の実施、合同就職説明会及び学校説明会への積極的な参加や各看護師養成施設への学校訪問など広報活動を実施した。

また、看護学生臨地実習受け入れ校の拡大やインターンシップ、病院見学会及び高校生1日ナース体験事業等における開催内容の充実を図り、看護師確保の強化に努めた。

(13) 患者の療養環境の向上に関する業務

患者の利便性、満足度の向上及び業務の効率化を図るため、外来診療から入院、退院支援までの流れを円滑に行うため、入退院支援センターの整備に取り組んだ。

(14) 収入の確保と費用の節減に関する業務

①収入の確保

施設基準の取得

診療報酬改定によって新設となった認知症ケア加算の施設基準の取得、総合入院体制加算の上位基準の取得、無菌室の増床など診療収入の増加を図った。

未収金対策

回収が困難な債権について法律事務所に回収業務を委託し、本年度は 9,392 千円を回収した。また、引き続き職員による催促にも力を入れ、効率的な未収金の回収に努めた。

患者数の増加

「中耳手術センター」などの専門外来の開設や救急患者及び紹介患者を断らない受け入れを行うなど、患者数を増加させる取り組みを行った。

地域型保育園への移行

あゆみ保育園の地域型保育園への移行に伴い、浜松市より保育給付金や補助金が交付され、30,000 千円の収支改善を図った。

項目	平成 28 年度	平成 27 年度	増減
医業収益	15,586,370 千円	15,745,226 千円	△158,856 千円
入院診療収益	10,981,753 千円	11,157,570 千円	△175,817 千円
外来診療収益	3,545,582 千円	3,524,046 千円	21,536 千円
1 日当り入院患者数	512 人	504 人	8 人
1 日当り外来患者数	953 人	952 人	1 人
医師 1 人当り延べ入院患者数	1,474 人	1,476 人	△2 人
医師 1 人当り延べ外来患者数	1,824 人	1,851 人	△27 人
入院診療単価 (1 人 1 日当り)	58,661 円	60,459 円	△1,798 円
外来診療単価 (1 人 1 日当り)	15,298 円	15,230 円	68 円

②費用の節減

光熱水料費の削減

原油価格の下落等に伴いガス・電気料金の単価が引下げられえたことに加え、使用量の節減に努めたことにより、光熱水料費を約 20%削減した。

材料費の削減

薬品及び診療材料について、価格交渉により約 35,000 千円の値引きを実現したとともに、共同購入組織に加盟し、スケールメリットを活かした購入により約 11,000 千円のコストを縮減した。

後発医薬品採用率の向上

薬事委員会を中心に可能な薬品を順次、後発品への切り替えの推進を図った。

項目		平成 28 年度	平成 27 年度	増減
給与費／医業収益 比率 ※1		52.2%	51.4%	0.8pt
材料費／医業収益 比率		24.9%	24.8%	0.1pt
(薬品費／医業収益 比率)		(14.6%)	(14.7%)	(△0.1pt)
(診療材料費／医業収益 比率)		(9.5%)	(9.2%)	(0.3pt)
総患者 1 人 1 日当り薬品費		5,420 円	5,570 円	△150 円
総患者 1 人 1 日当り診療材料費		3,520 円	3,500 円	20 円
後発品	採用品目ベース	15.0%	16.3%	△1.3pt
採用率	後発医薬品指数 ※2	84.5%	81.4%	3.1pt

※1 給与費は、退職給付引当金の会計基準変更時差異分を除く

※2 後発医薬品指数＝後発医薬品の数量／（後発医薬品のある先発品の数量＋後発医薬品の数量）

(15) 新病院建設に関する業務

基本設計図の策定に向けて、各部門とレイアウトヒアリングを行い、各部署の意見・要望を反映したブロックプランの作成に取り組んだ。また、医療情報システムの整備基本計画や物流システムなどの検討及び既存施設整備（患者支援センター開設）など新病院建設に向けた準備を行った。

(16) 医療と介護の連携推進事業の支援に関する業務

医療と介護の連携推進事業を支援するとともに、地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携強化に努めた。

3 役員会開催実績

1 評議員会

(1) 第1回定時評議員会

日 時	平成28年6月29日（水）午後1時30分
議事等	・公益財団法人浜松市医療公社第3期（平成27年度）事業報告について ・公益財団法人浜松市医療公社第3期（平成27年度）決算について

(2) 第1回臨時評議員会

日 時	平成29年3月21日（火）午後1時30分
議事等	・第4期（平成28年度）公益財団法人浜松市医療公社補正予算（第1号） ・平成29年度浜松医療センターの管理に関する年度協定書の締結について ・第5期（平成29年度）公益財団法人浜松市医療公社事業計画について ・第5期（平成29年度）公益財団法人浜松市医療公社収支予算 ・公益財団法人浜松市医療公社理事の辞任に伴う補欠選任について ・公益財団法人浜松市医療公社理事の辞任に伴う補欠選任について

(3) 第2回臨時評議員会（決議の省略）

決議があったと みなされた日	平成29年3月28日（火）
議事等	・公益財団法人浜松市医療公社理事の辞任に伴う補欠選任について

2 理事会

(1) 第1回定例理事会

日 時	平成28年6月14日（火）午後1時30分
議事等	・公益財団法人浜松市医療公社定時評議員会の招集について ・公益財団法人浜松市医療公社第3期（平成27年度）事業報告（案）について ・公益財団法人浜松市医療公社第3期（平成27年度）決算（案）について ・浜松医療センター組織規程の一部改正について ・公益財団法人浜松市医療公社事務分掌規則の一部改正について ・公益財団法人浜松市医療公社専決規則の一部改正について ・浜松医療センター副院長の事務分担を定める規則の一部改正について

(2) 第2回定例理事会

日 時	平成28年9月12日（月）午後1時30分
議事等	・公益財団法人浜松市医療公社特定業務職員に関する規程の一部改正について ・公益財団法人浜松市医療公社継続雇用職員に関する規程の一部改正について ・あゆみ保育園の利用定員変更について

(3) 第3回定例理事会

日 時	平成28年12月15日（木）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none">・公益財団法人浜松市医療公社職員就業規程の一部改正について・公益財団法人浜松市医療公社職員の育児休業、介護休業等に関する規程の一部改正について

(4) 第4回定例理事会

日 時	平成29年3月7日（火）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none">・公益財団法人浜松市医療公社第1回臨時評議員会の招集について・第4期（平成28年度）公益財団法人浜松市医療公社補正予算（第1号）・第5期（平成29年度）公益財団法人浜松市医療公社事業計画について・第5期（平成29年度）公益財団法人浜松市医療公社収支予算・平成29年度公益財団法人浜松市医療公社資金運用の執行方針及び計画について・公益財団法人浜松市医療公社理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について・公益財団法人浜松市医療公社個人情報保護規程の一部改正について・公益財団法人浜松市医療公社職員就業規程の一部改正について・公益財団法人浜松市医療公社職員給与規程の一部改正について・浜松医療センター専修医に関する規程の一部改正について・浜松医療センター組織規程の一部改正について・公益財団法人浜松市医療公社事務分掌規則の一部改正について・公益財団法人浜松市医療公社専決規則の一部改正について・公益財団法人浜松市医療公社職員の職名を定める規程の一部改正について・公益財団法人浜松市医療公社職員給与規程施行規則の一部改正について・公益財団法人浜松市医療公社契約規則の一部改正について・浜松医療センターあゆみ保育園運営規程の一部改正について・平成29年度浜松医療センターの管理に関する年度協定書の締結について・一般財団法人浜松市光医学財団と公益財団法人浜松市医療公社との浜松PET診断センターにおける診療及び研究の連携に関する協定書の締結について

4 役員等に関する事項

(1) 理事（平成 29 年 3 月 31 日現在）

役職	氏名	現職等
理事長	山下 堅司	公益財団法人浜松市医療公社理事長
副理事長	小林 隆夫	浜松医療センター院長
常務理事	田中 國義	浜松医療センター院長補佐
常務理事	初木 茂	浜松医療センター院長補佐
常務理事	倉形 達義	公益財団法人浜松市医療公社事務局長
理事	山本 清二	国立大学法人浜松医科大学理事・副学長
理事	野口 泰之	一般社団法人浜松市医師会副会長
理事	小杉 和弘	浜松商工会議所専務理事・事務局長
理事	鈴木 貴	医療法人社団一穂会理事
理事	渡瀬 充雄	浜松市健康福祉部医療担当部長

(2) 評議員（平成 29 年 3 月 31 日現在）

役職	氏名	現職等
評議員	滝浪 實	一般社団法人浜松市医師会会長
評議員	大野 守弘	一般社団法人浜松市歯科医師会会長
評議員	品川 彰彦	一般社団法人浜松市薬剤師会会長
評議員	鈴木 敏弘	弁護士
評議員	山口 治郎	静岡エフエム放送株式会社顧問
評議員	内藤 伸二郎	浜松市健康福祉部長
評議員	西原 信彦	浜松市保健所長

(3) 監事及び会計監査人（平成 29 年 3 月 31 日現在）

役職	氏名	現職等
監事	田中 範雄	公認会計士・税理士
監事	門名 孝叔	浜松市会計管理者
会計監査人	疋田 通丈	公認会計士・税理士

5 職員に関する事項

<職種別職員数：前年度比較>

職種	平成 28 年度末	平成 27 年度末	比較増減
医師	101 人	100 人	1
保健師	36 人	36 人	0
助産師	54 人	55 人	△ 1
看護師	461 人	455 人	6
薬剤師	29 人	27 人	2
診療放射線技師	26 人	25 人	1
臨床検査技師	33 人	33 人	0
臨床工学技士	9 人	10 人	△ 1
管理栄養士	8 人	7 人	1
理学療法士	11 人	11 人	0
作業療法士	8 人	6 人	2
言語聴覚士	2 人	2 人	0
臨床心理士	1 人	1 人	0
視能訓練士	2 人	2 人	0
歯科衛生士	2 人	2 人	0
医学写真技師	0 人	1 人	△ 1
診療情報管理士	3 人	4 人	△ 1
事務員	59 人	58 人	1
医療社会事業士	6 人	6 人	0
保育士	8 人	7 人	1
電気技師	1 人	1 人	0
業務員	9 人	9 人	0
合 計	869 人	858 人	11 人